

# おれんじ通信

31

知って支える認知症

## ほっとひと息 認知症あんしん声かけ訓練

市では、地域包括支援センターの担当地区を中心として、認知症などで道に迷った高齢者の捜索、声かけおよび見守りを体験する「認知症あんしん声かけ訓練」を行っています。市内警察署管内では高齢者の迷い人の連絡が毎日数件あり、今後はさらに深刻な問題となることが予測されます。

このような高齢者を助けたいという思いがありながらも、「この人は認知症？」「この人は本当に道に迷っているの？」「失礼なことを言ってしまったらどうしよう」などと考え、他人に声をかけることを難しく感じる方は多いはずです。

認知症あんしん声かけ訓練では、



行方がわからなくなったと想定した認知症高齢者役の方を実際に捜索し(上写真)、探しあてたその場で声のかけ方、接し方、連絡方法などを実践形式で学ぶことができます(左下写真)。

地域の理解や協力のもと、地域包括支援センターに実施が求められる以前(5年前)から小学校区単位で実施しているセンターもあります。

市ではこの取組みを進め、認知症の人にやさしいまちをめざします。

◇ ◇

次回は「認知症になっても～自分らしく生きる」です。なお、おれんじ通信への意見をお寄せください。

☎地域包括ケア推進課 06(4309)3013、FAX06(4309)3848